

# 平成26年ホヤ類調査結果速報 No. 4

平成26年10月24日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

協力機関：渡島北部地区水産技術普及指導所  
胆振地区水産技術普及指導所

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

【アドレス：<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/hakodate/>】

9月16日～10月2日に、噴火湾周辺沿岸の各地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

## 結果概要

- 調査を行った全地区でヨーロッパザラボヤの付着が確認されました（図1、2、3）。
- 今年のヨーロッパザラボヤの付着は虻田～八雲地区が中心となっています（図2、3）。
- 体サイズ組成は、10～30mmの個体が主体ですが、一部、5mm未満の個体が多い地区もありました（図4）。
- 平成26年の付着状況を昨年と比較すると、湾奥部（虻田～八雲地区）では、昨年を上回る付着量となっています。一方、その他の地区では、昨年並み～昨年を下回っており、地区間の差が大きくなっています（図5-1、5-2）。
- 湾奥部では、今後も付着重量が増加すると見込まれるため、貝洗い等の対策を進めて下さい。

図1 耳吊ホタテガイへの付着状況（平成26年9月24日、虻田地区、礼文地区）



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 金森・吉田  
TEL:0138-83-2893 FAX:0138-83-2849

# 耳吊りホタテガイ付着物調査

〔調査月日：9月16日～10月2日、調査地区（伊達、虻田、礼文、長万部、八雲、落部、森、砂原、鹿部）〕

ホタテガイを1連から上層、中層、下層ごとに3～5枚ずつ抽出し、肉眼及び実体顕微鏡を用いた観察により、付着物の識別、採取を行いました。ヨーロッパザラボヤおよびその他付着物の重量測定、ヨーロッパザラボヤ個体数の計数および体サイズ測定を行いました。なお、八雲地区は、9月16日に実施した函館水試の定期調査の結果も含めています。

## 1) 付着重量と付着個体数

ヨーロッパザラボヤの付着重量、付着個体数ともに、虻田、礼文、長万部および八雲地区で数値が高くなっています（図2、3）。一方、それ以外の地区では、付着量は比較的少なく、今年は湾奥部（虻田～八雲地区）の付着量の多さが目立ちます。

図2 各地区の付着生物重量（平成26年9月16日～10月2日）

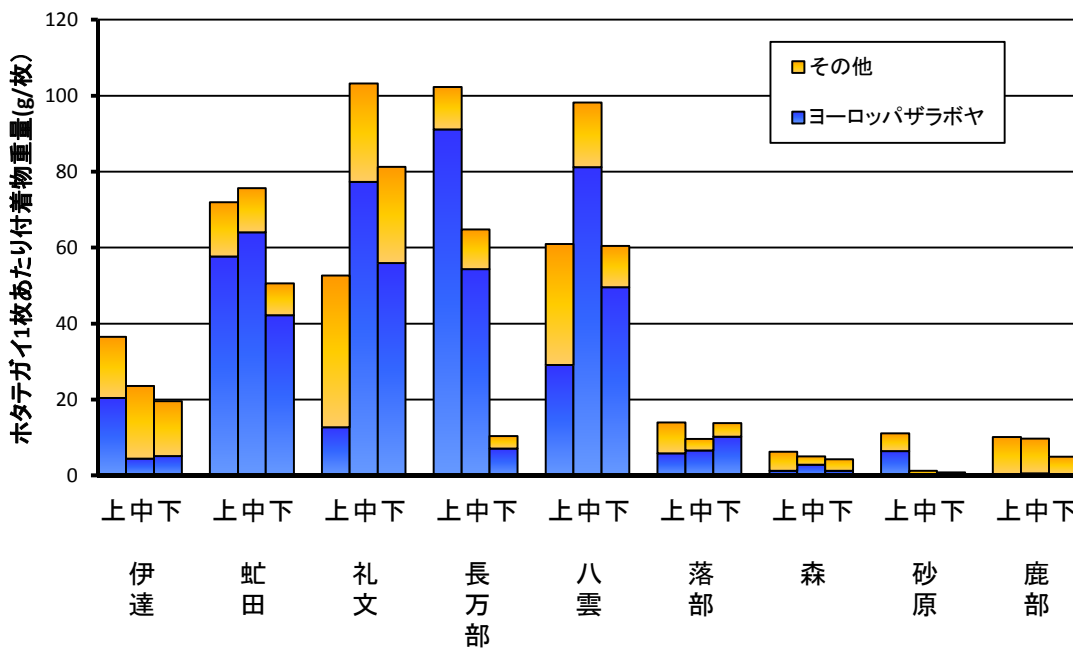
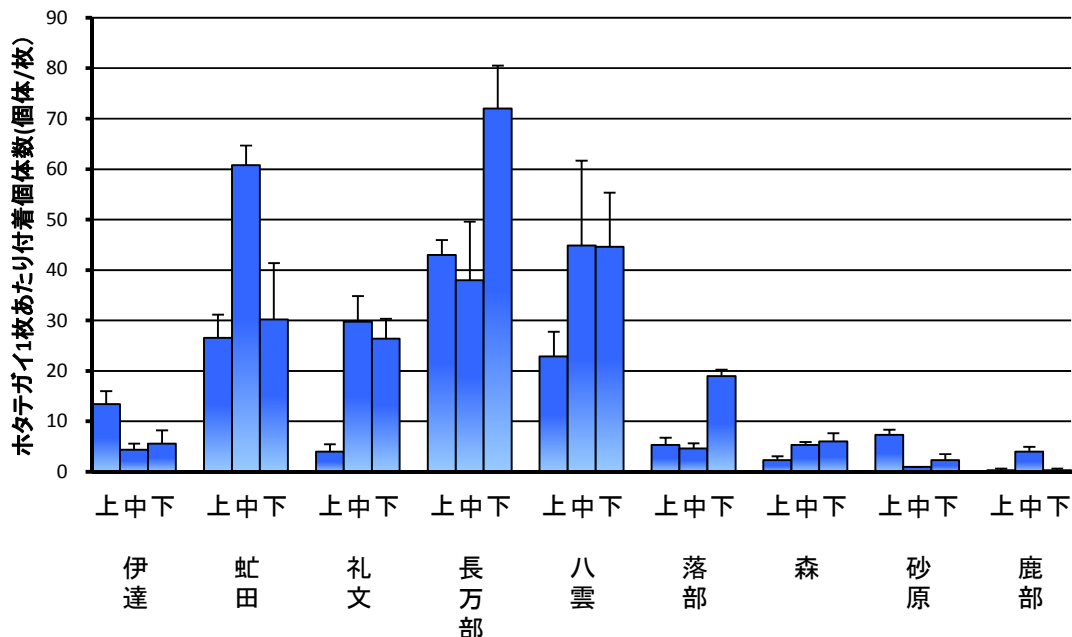


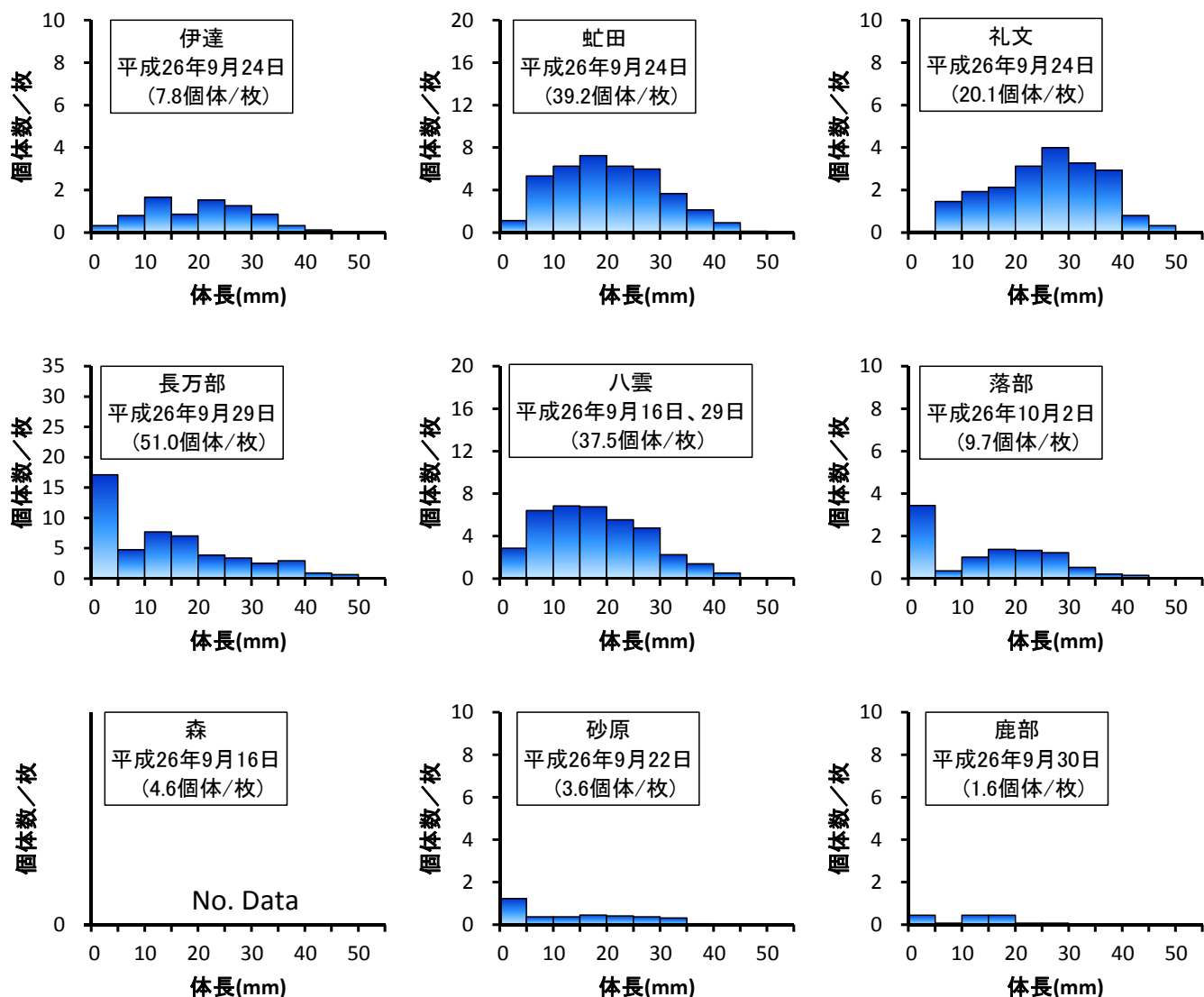
図3 各地区のヨーロッパザラボヤの付着個体数（平成26年9月16日～10月2日）



## 2) サイズ組成

10～30mmの個体が中心となっています(図4)。一方、長万部地区、落部地区では、5mm未満の個体も比較的多く付着しています。これらの微小な個体は9月以降に付着した個体と推測されます。

図4 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成(平成26年9月16日～10月2日)



## 3) ヨーロッパザラボヤ付着状況の昨年との比較

これまでの調査結果から、ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着重量は、夏から冬にかけて増加が続きます。今年の調査は、昨年と比べて約1ヶ月早く実施しており、昨年よりも付着重量は、軽くなると考えられます。ところが、湾奥部(虻田～八雲地区)では、付着重量が去年より増加しています(図5-1)。これらの地区では、昨年よりも付着量が多いと考えられますので、貝洗い等の対応を可能な限り実施することが望ましいと言えます。

図 5-1 H25 と H26 の各地区ヨーロッパザラボヤ付着重量 (3 層平均) の比較  
 (調査期間：平成 25 年 10 月 9 日～29 日、平成 26 年 9 月 16 日～10 月 2 日)

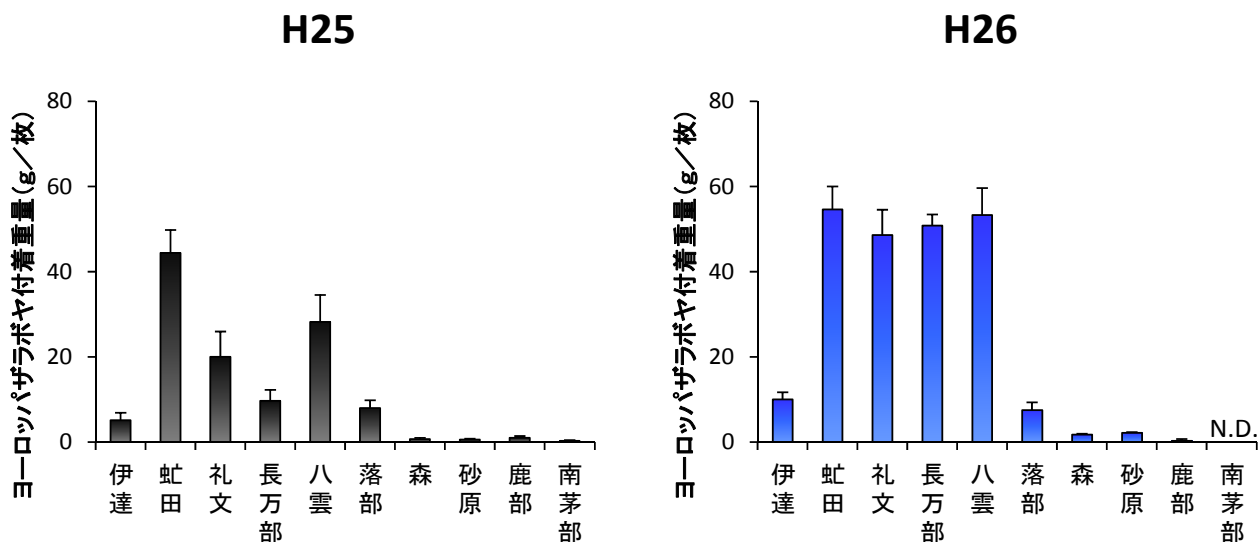
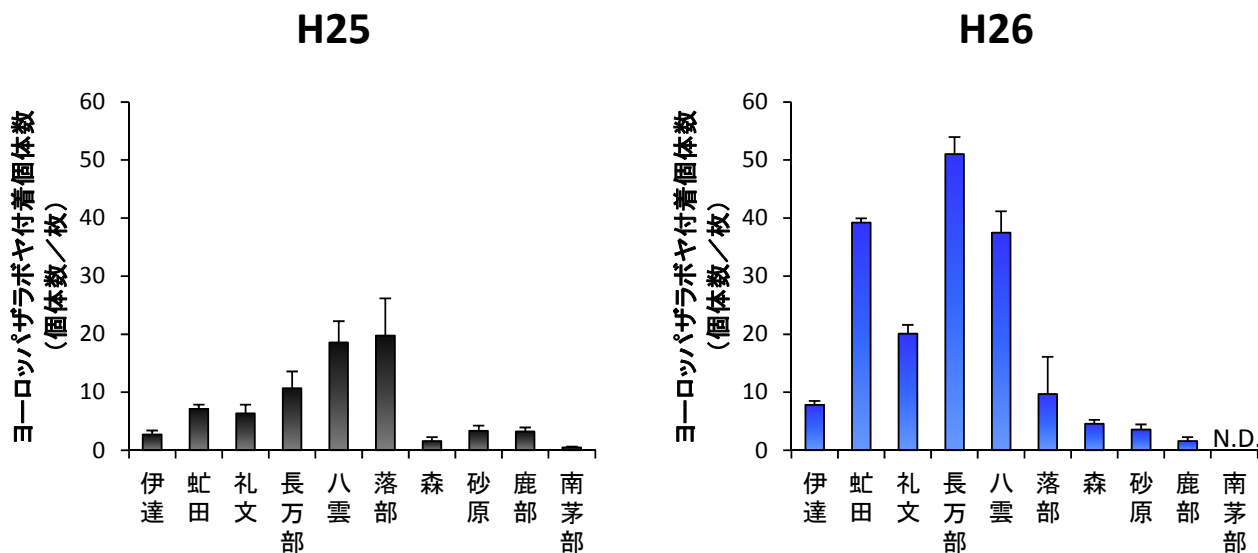


図 5-2 H25 と H26 の各地区ヨーロッパザラボヤ付着個体数 (3 層平均) の比較  
 (調査期間：平成 25 年 10 月 9 日～29 日、平成 26 年 9 月 16 日～10 月 2 日)



### 噴火湾の「ザラボヤ」に関する参考資料について

平成 20 年以降、噴火湾の垂下養殖ホタテガイに大量に付着しているホヤ (通称「ザラボヤ」) は、外来種ヨーロッパザラボヤであることが判明しています。ヨーロッパザラボヤの特徴や在来種との識別方法等については、北海道立総合研究機構水産研究本部 HP (<http://www.fishexp.hro.or.jp/>) に公表されている以下の資料を参考としてください。

- ・金森誠：噴火湾のザラボヤの正体ー外来種ヨーロッパザラボヤー (試験研究は今 No.707)
- ・金森誠：外来種ヨーロッパザラボヤの道内の分布について (試験研究は今 No.731)
- ・金森誠・馬場勝寿・長谷川夏樹・西川輝昭：外来種ヨーロッパザラボヤの生物学的特徴および簡易識別、同定について (北海道水産試験場研究報告 81：151-156)